

平成 15 年 10 月 6 日

各位

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

資産管理系業務及び決済系業務に関する災害対策バックアップ・センターおよび  
バックアップ・オフィスの構築完了

日本トラスティ・サービス信託銀行（JTSB、社長：松田 良一）は、業務継続計画（BCP：Business Continuity Plan）の強化を図ってまいりましたが、このほど資産管理系業務をメインとしたバックアップ・センター（所在地：千葉県内）の構築を完了し（10月6日より本格稼働を開始）、既に完成しているバックアップ・オフィス及び資金決済系システムのバックアップ・センターと合わせて、両拠点の業務継続環境の整備を完了いたしました。

尚、資産管理系業務及び決済系業務に関するバックアップ・センター及びバックアップ・オフィスの両施設の整備を完了したのは、資産管理専門銀行で初となります。

バックアップ・センターは資産管理系システムが稼働しているメイン・センターより60km離れた場所に位置し、非常用電源設備、耐震構造などデータセンターとしてインフラを備えた建物に専用のスペースを確保し、専用の機器類を配置いたしました。

業務の開始および終了時点のデータをメイン・センターより退避させるとともに、日中オンラインの更新情報も一定間隔で転送し、メイン・センターが何らかの原因で使用不能となった場合の復旧に備えています。

バックアップ・オフィスは、JTSBのメイン・オフィス（中央区晴海）より約1時間の距離に位置し耐震機能等強固なインフラを有する建物に設置いたしました。

JTSBのメイン・オフィスは耐震構造をとり、電源設備・回線等は2重化し、セキュリティ管理面でも十分配慮したファシリティを保有していますが、バックアップ・オフィス構築により、メイン・オフィスが自然災害やテロ、脅迫等の人的災害により使用不能となった場合、被災後2時間以内に業務立上げが可能となります。バックアップ・オフィスの規模としては、メイン・オフィスへの復旧期間を考慮し100%の事務量を3ヶ月間処理できる体制といたしました。

今後、JTSBは本環境をベースに災対訓練を継続的に実施のうえソフト面の充実を図り、業務継続計画の更なる充実を実現してまいります。

以上